# THE LION'S ROAR

ISS INTERNATIONAL SCHOOL SINGAPORE CAMPUS

潜在力の実現

2017年12月

www.iss.edu.sg

ニコラ・ジュル
高校校長

世界を見ると、政治、社会、環境的問題の分野であまり良くないニュースを毎日耳にします。 ISSの教師が毎日、自分たちの役割との重要性を認識するのはこのためです。学校としての私たちの役割は、すべての学生を世界中に連れて出してくれる様々なスキルを準備させることです。ただの学問だけでなく、正直、思いやり、開放的な態度、批判的思考を教えることです。そのことで将来直面する課題に屈せず、これを共感して、きちんと対応することができます。

学生のこれらのスキルの開発をサポートする方法は、中学校と高校に対する差別のない私達の週間生活を通してです。学校のミッションとIBの学生のプロフィールをサポートする多様なサービス学習活動に参加することができます。最近11年生は、インドネシアのロンボク(Lombok)くを旅行し、そこで海洋保全と海洋の様々な階層の知識;生態的、社会的、経済的、政治的要因を学びました。科学的調査の実施方法を学び、結果を解釈し、海洋の脅威と保全のために全体的に理解して、海洋生態系を維持するために何ができるかを学びました。

10年生がマレーシアのセディリ(Sideli)から帰ってきました。そこでロヒンギャ(Rohingya)難民学校を訪問し、若い学生たちと教室で過ごし、ロヒンギャの人々の逆境と移住の事実について知り、冷遇される共同体社会に共感しました。

9年生は3回目のベトナム訪問から帰ってきました。プロジェクト課題として、数年後に地域社会に役立つ果実樹の寄贈と植樹活動を行いました。またチームビルディング(team building)の活動と地域コミュニティサービスであるペイントプロジェクトにも参加しました。

7年生と8年生はボンクド(Bongkud)を訪問しました。小屋だった幼稚園を建て直し、溝に橋を架け、幼稚園生と一緒に過ごしました。何人かはカンボジア・プノンペンのソックサベイ(Sok Sabay)の避難施設に4度目の訪問をしました。ここで学生はボランティアを行い、恵まれない人々の日常生活に活力を与えました。旅を通してボランティアの深い意味を知りました。

6年生は、インドネシアのテルナス(Telunas)を訪問しました。そこでジャングルを探検したり浜で泳いだりして楽しく過ごしました。デッキから海に飛び込んだり、地域社会の中で一緒に働きました。コミュニケーションとトラブル解決のためのチームメイトとしてのスキルを学びました。

3年生以上の小学生は、2学期に近くでキャンプをしながら、ボランティア活動やグローバル市民権について理解を深める予定です。

私たちが計画する学生たちの訪問活動は、すばらしい経験になるでしょう。学生が自信を持って、自主的にバランスのとれた批判的思考ができるようにすることが旅行のプログラムになっています。これを通してさまざまな観点や視点から問題に対処する方法を学びます。バランスの取れた結論に到達するために、すべての情報を分析する方法、これはすべてのグローバル市民が、今日の世界を乗り越えていくためにすぐにでも備えなければならない必須の特性です。

このe-ニュースレターのページをめくり、学生たちが経験した様々な活動や体験をご覧になったあと、私はお聞きしたいと思います。素晴らしい世界市民について、あなたのお子さんにどのように教えますか?

ニコラ・ジュル(Nicola Zulu)
高校校長

## 目次

02 ISSについて見る:
思考する人たちが作り出す批判的思考と生きた討論!

04 理事会について知る:
レオン・ウェンカム (Mr. Leong Weng Kam)

05 学生たちの成就と貢献:
壁のない週間
ボングド (Bongkud, Borneo)
ソックサベイ (Sok Sabay)
シンガポール (Singapore)
テルナス (Telunas)
ホイアン (Hoi An, Vietnam)
セディリ (Sedili, Malaysia)
ロンボク (Lombok, Indonesia)
小学校のスポーツデー
MYP水泳大会

10 本校の卒業生:
トリー・ハリヒ (Tony Harlich)

11 ISSについて:
PTA Committee発表
ジェフ・キニー (Jeff Kinney) ISS 訪問!
2017 インターナショナルデー

13 主な行事:
学校の活動
9月から11月

15 過去の行事:
期待の行事
11月から12月

16 シンガポールの あれこれ:
今後の行事

中学生たちが答えを探すために 実験を行っている。

# 思考する人々が作り出す 批判的思考と生きた討論!

批判的思考と創造的な思考は、一般的に教育で利点として掲げられますが、実際にはどういう意味なのでしょうか?これは切り離せない関係であり、二つともできるだけ最善の判断を下すための重要なスキルです!

批判的思考は、私たちが巨視的な大きな絵を描き多分野にわたる観点から問題を検討して見つめさせてくれます。私たちは他人と議論し、できるだけ多くの情報を収集するための調査方法を学ばなければなりません。

そして得た情報を活用する批判的思考のスキルを使い、有用で建設的な知識の感覚を養います。様々な視点と他人の視点から問題を検討することを学ぶこと。最終目標に至ることのできるすべての情報の分析、収集されたデータを分析し熟考して目標を設定するために、批判的な思考スキルを使います。

今日の世界は予測不能で、急速に変化しており、互いに繋がっている世界経済です。専門的な知識も重要ですが、情報を分析して、これらの専門知識を様々な状況に適用し、最善の解決案を導くことが競争において有利です。これは創造的で批判的な方法で、思考のスキルを創造的に適応させて難関を克服していく批判的な「腕前」を備えなければならないことを意味します。既存の公式をそのまま適用すれば淘汰されるしかなく、教育システムは、学生がこのような新しい経済環境の中で生き残れるようにするシステムでなければなりません。

IS国際学校では、学生の思考力と創造性を育てるために、このシステムが重要な役割を果たします。学生は様々な形の読解力を用いて調査を行い、理解度を表現し、問題を提起して解決することができます。このようなプロセスは、低学年の時からずっと教育され、4歳から18歳までの生徒のスキル開発において、これと同じ教育理念教育を伝達し、結果を出していきます。たち教育は、学生のために、思考の文化に合った教室づくりを行っています。学生は常に様々な学問、多文化的なアプローチで問題を探求して考慮し、教室で学んだこと実際の世界で起こっていることの間に類似性を見つけます。一例として、創造的言語の授業で文法と句読点だけを学ぶことはありません。グローバル問

小学生たちが図書館で　新しい知識を学んでいる。

批判的思考は、私たちが巨視的な大きな絵を描き、多分野に渡る観点から問題を考察して見ることができるようにします。

11年生がプロジェクトの準備のために共同作業を行っている。

題とその影響についてのテーマを、その背景となる科目を学ぶことで、言語がより興味深い授業になるのです。テーマについて探求し、様々な国籍のクラスメートと一緒に議論し、異なる文化的な視点を理解し、バランスのとれた視野を作り上げ、さまざまな観点に関するテーマを授業で学生に発表させるようにしています。これにより、言語能力を育てながら複数の段階、すなわち言語の原理、資料収集と分析、ディスカッション、議論、スピーチのスキルと一般的な常識 - 批判的思考の開発のすべての部分を学ぶことができます！

このような必要性に応じて、学生がこのような批判的思考のスキルを身につけて成長できるように指導するために、教師は専門的な教育を履修しています。「教育、学習、思考における深く豊かな議論が、教師の経験を土台とする専門的なコミュニティの発展が、学生の思考力と学習を育成する基盤を提供する。」（出典：思考プロジェクト文化の6つのコア原理）。これはISSの教育伝達の基本的な要素と一致します。学生が自分たちの目標意識を見つけ、追求するべき自律的な環境を開拓し、自己発見の過程を経ることができるよう指導して教え、誰にでも自分の意見を発表する機会が与えられる統合性を確保し、各学生が自分のニーズに合わせて勉強し、その学びから十分な利益を受けられるように、高度にパーソナライズされた個別のスタイルで、授業を行います。

「世界は予測できず、直面している課題や問題は互いに異なる場合があります。私たちが行う教育は、学生がこのような環境を克服できるように準備させなければなりません。私たちのアプローチは、学生が様々な角度や側面から問題を眺めることができように多方面の分野を網羅します。」と、IBプログラムの司会者であり、高校の知識論（ToK）の教師であるジュンゴ（Jungo）は語ります。

「個人的には、各学生の普段の信仰とは違い、問題をありのまま受け入れず、また自分たちの文化的または宗教的な背景によって結論を下さないことを勧めます。　前後関係を通して問題を把握し、常にこれに疑問を持ち、新たな知識を得るために読書をたくさんして、自分たちが知っているすべてのものを状況に照らし合わせて問題を解決する新しい思考を身に着けなければなりません。学生とよく一対一で交流し、知識論ジャーナルで学生の考えを聞き発展した姿を測定します。これにより、学生を成長させるそれぞれ異なる戦略を発展させることができます。学生の考えを聞きながら成長を感じたときは非常に嬉しいです。教育の成果を見せてくれるからです。」

中学校で教師が多方面の研究分野にわたる授業のアプローチを使うと、批判的思考が生活に溶け込むようになります。すべての学生が自分の考えを見つめ、疑問を持ち、分析し、評価し、批判する機会が与えられます。このアプローチは、最終的に第2の才能になり、授業環境を超えて広がる批判的思考スキルを構築します。教師は7年生を例に挙げます。彼らに　仮想の大規模な　学校の庭園を設計するように課題を与えました。幾何学的なデザインコンセプトを勉強するだけではなく、自分のデザインが正確なのか、実行可能なのかを検討することで、批判的思考が発展します。また、学生は自分なりに予算とコストを考慮しなければならず、満足のいく学習環境という自分たちのニーズを満たさなければばりません。これを通して挑戦的な課題、よく考えられた現実的で意味のあるデザインを作り上げました。

小学校の生徒たちには、授業時間に学ぶ科目が実際の生活にどのように応用できるのを考えさせました。彼らは能動的に探索し、疑問を表現し、資料を収集し、記録して学んだことを発表しました。小学校の教師であるジェマ（Ms.　Gemma）は、ISSの教育理

念に賛成します。「4年生が終わると、学生は木材、竹、プラスチック、ポリウレタンのような様々な硬い材料を調べる方法を学び、興味深いものを作ることに挑戦します。その結果は驚くべきことです。 ISSコミュニティのすべての学生は今、図書館の外に作られた「太陽系と宇宙」を素晴らしく感じるのです。

ケンブリッジ大学の学科を卒業し、現在オランダのユトレヒト（Utrecht）大学で国際法の修士号を学んでいるスウェーデン人卒業生のヨハンナ（Johanna）は、この点に共感します。「ISSで9年生から12年生まで勉強している間、批判的思考ができる土台ができました。知識論の授業で知識を獲得し、この思考をすべての科目に応用する方法を学びました。勉強した各科目全体を自ら解釈し、自分の経験に基づいて問題を振り返ることを学びました。」彼女はこう回想します。「知識論の授業で、数学が発見されたのか、それとも発明されたのかという猛烈な議論を経た後に、11年生の数学の授業を受けたことを覚えています。当然のことながら、科目について深く考えることで数学の授業に集中できました！」

子供たちが考えと情報を処理しながら、成長して成熟した姿を保護者が知ったときにISSの成功は頂点に達します。ポール（Paul）とアビース（Avis）は、娘のグレース（Grace）が以前決して興味を持たなかった問題について考え、分析するのを見て嬉しかったと話す。「彼女は考えて疑問を持ち、自分なりの質問を考え、学校で学んだことと時事問題の類似点を探し出します。」と話しながら、夕食の席で、ナチスドイツと共産党ロシアについての最近の学校の勉強の話をしたり、イギリスとアメリカでの最近の政治的事件について考えて類似性を分析する姿を見たとアビース（Avis）は話しました。これは夕食を生き生きと楽しい議論の場にして、既存の思考レベルを超える批判的思考を可能にしました！教育が学生だけでなく家族にも影響を与えることは、ジュンゴ（Jungo）にとって非常に大きな喜びです。.

より速く作動して他のロボットを撃退するようにロボットをプログラミングした

## 理事会について知る

# レオン・ウェンカム(Mr. Leong Weng Kam)

レオンウェンカム（Mr. Leong Weng Kam）はベテラン記者でした。 1975年に「シンガポール・アームド・フォース（Armed Force）月刊パイオニア」のリポーターとして記者の仕事を始めました。1977年にストレート・タイムズ（The Straight Times）が、複数の言語で出版され始めたとき、多言語の担当記者として入社しました。その後、地域、中国、海外や政治の分野のレポートや記事を書き、ライフ（Life）誌にも掲載されました。彼は2009年に発刊されたメン・イン・ホワイト（Men In White）、シンガポール与党の裏話（The Untold Story Of Singapore's Ruling Political Party）を著した3人の中堅記者の一人でした。北京師範大学（Beijing Normal University）で中国語と中国文学の学士号を取得し、リード大学（Leeds University）とナンヤン工科大学（Nanyang Technological University）で、それぞれアジアパシフィック芸術修士と中国現代美術の修士号を取得しました。.

彼5年間以上、ISSの理事会メンバーとして、 1年生から12年生までの学生に質の高い国際教育を提供するためのカリキュラム開発と、教師の専門知識のレベルを向上させるために学校が行った活動を見守ってきました。有能なCEO、学校代表、校長と献身的な教職員のリーダーシップの下で、学校は教育の第一線で優れた成果を上げて、ISSをレベルアップさせる計画を立て、今後の課題に備えるだろうと彼は確信しています。また、ISSが献身的な教師を引き続き確保し、すべての学生が自分の可能性を実現できる開かれた学校にするという目標を実践していくことが、彼の願いであることを強調します。

レオン・ウェンカム

# 壁のない週間

壁のない週（Week Without Walls）は、教室を越えた学びを追求している。すべての旅行は学生の自己啓発をサポートし、グローバル市民としての役割を拡大し、信頼できるカリキュラムを実施している。この旅行は、学生それぞれが自分の可能性に気づけるように奨励している。学生と教師がそれぞれ、旅の感想をここに綴った。

## ボングド (Bongkud, Borneo)

Bongkud に到着

第2バレーボールコート工事

コンクリート配合法の学習

今回のボンクド（Bongkud）」の壁のない週」では、学生がスポーツや民族舞踊を体験し、バレーボールコートを建てるのを手伝って、地域の学生たちと交流する機会を持った。そして学生は現地の市場、ポーリング温泉（Poring Hot Spring）、キャノピーウォーク（Canopy Walk Way）を訪問した。

「今回のボンクド（Bongkud）、ボルネオ（Borneo）への「壁のない週」の旅は素晴らしかった。 村のためにバレーボールコートを建てたりしてとても大変だったけれど、クラスメートや近隣の町の人たちと一緒に頑張って、村のレジャーのために二番目となる 新しいバレーボールコートを作ることができた。」

ボンクド（Bongkud）旅行はボランティアだけではなかった。学校の友達とも楽しい時間を過ごした。最終日には、ユネスコ（UNESCO）の文化遺産であるキャノピーウォーク（Canopy Walk Way）と温泉を訪問した。私は滝、温泉そしてウォータースライドを満喫した。」

Koji, ISS Student

# ソックサベイ (Sok Sabay, Cambodia)

今回の「壁のない週」でのソックサベイ（Sok Sabay）旅行は7、8年生の生徒にとって充実した経験だった。ソックサベイ（Sok Sabay）の保護施設の子供たちと多様な活動に参加した。 保護施設の子供たちと民俗工芸を作り、ダンスワークショップに参加し、クメール・ルージュ（Khmer Rouge）の時期について学び、水泳やセーリングをした。

学生にハクナマタタダンスを教習

ソックサベイ（Sok Sabay）8行詩

ソックサベイは子どもたちのための憩いの場 (**S** - *Sok Sabay a shelter for children*)
楽しむ子どもたち (**O** - *Overexcited children*)
クメール・ルージュ (**K** - *Khmer Rouge*)

ボランティアと共感 (**S** - *Service and empathy*)
子どもたちとの活動 (**A** - *Action with children*)
尊重 (**B** - *Be respectful*)
芸術的な子どもたち (**A** - *Artistic children*)
ワークショップをする (**Y** - *You do the workshops*)

「ソックサベイ（Sok Sabay）のスペル一つ一つが私にとって意味があったので、今回のソックサベイ旅行（Sok Sabay）の感想を8行詩で表現した。私より環境が劣悪な子供たちと一緒に働いたことは良い経験だった。ソックサベイ（Sok Sabay）の保護施設を訪問した学生として、子供たちにインスピレーションを与えたい。ワークショップはエネルギーと笑いが絶えず、願いが叶ったと思う。子供たち皆がお互いを応援して喜び合った。そして昔の刑務所の訪問でカンボジアのクメール・ルージュ（Khmer Rouge）時代の悲しい歴史について学んだ。グローバル市民として、このようなことが世界で二度と起こらないことを願う。最後に、この旅行は充実したスリルある経験で、世界をより深く理解するのに役立った。」

カール (Karl), ISS 学生

スマイル、プノンペンに到着!

# シンガポール (Singapore)

シンガポールの美術週間プログラムでは、パフォーマンス、博物館、展示会やレクリエーションを体験することができた。様々なタイプの美術の多様性に焦点を当て、コーヒーを入れる技術も学んだ。また、KK病院でのボランティアでは、地域共同体に貢献し、貧困な家庭のためにフードバンクでもボランティアをした。学生たちがシンガポールの文化や都市、国について深く知ることができ、地域の積極的なメンバーになることができる方法を知った。

Dignity Kitchen で料理講習

「シンガポール旅行は、シンガポールの文化を深く体験できる非常に良い機会で、色々なボランティア活動にも参加した。私たちは、シンガポールの美術を重点に置いてエスプラナード（the Esplanade）とラサール芸術大学（Lasalle College of the Arts）を訪問した。KK病院でクッキーを売って、経済的に厳しい患者のための募金活動をした。募金されたお金は医療費が払えない患者のために使われる。大きな額ではないけれど、彼らの治療に役に立てばいいと思う。

食品包装の手伝い、整理、そしてフードバンクでもボランティア活動をした。驚くべきことに、シンガポールにも食べ物が不足している人がいた。大変だったが、恵まれない人々を助けられたと思うと、胸がいっぱいになった。

また、障害者が運営するイベント団体である「（Dignity Kitchen）」で昼食を食べ、様々なレシピを学んだ。障害で不便なのにもかかわらず、彼らが用意してくれた料理は美味しかった。全体的に今回の旅行は素晴らしく、色々な人の役に立って非常に感動的だった!」

ビビカ (Vivika), ISS の学生

KK パン作りチャリティ

# テルナス (Telunas)

6年生との「壁のない週　‘テルナス（Telunas）旅行は、忘れられない旅になるだろう！ジャングルでのハイキングやビーチでの水泳、ダイビングをして遊んで地域のコミュニティと働く機会が得られた。学生たちは地域の学校で本を読んで寄贈し、カムポン（Kampung）ゲームや美術ゲームをした。さらに地域の学生に体育と科学を教えて瞑想を行った。全体的に楽しく充実した学びの旅だった。

「先週、テルナス（Telunas）の地元の学校を訪問した。その学校はあまり大きくなくて扇風機がひとつしかなかったのに、地域の学生は私たちに扇風機を使わせてくれた。本当に思いやりがあった。

私たちは、地域の学生が弟妹の世話をしたり、家計を支えて仕事をするために6年生が終わったら学校をやめると聞いた。彼らの困難な生活を見て、自分たちがどれほど幸せに暮らしているのかを知った。これを通して私に与えられた祝福に気づき　、自分が持っているものに感謝することができた。」

ホアイヤオ (Huaiyao), ISS の学生

テルナスで www!

女子学生と一緒に読書

一般の学校で学生たちと活動

# ホイアン (Hoi An, Vietnam)

「39人の9年生と4人の教師たちは、ボランティア活動、文化教育、肉体の限界に挑戦する「壁のない週」の旅でベトナムへ出発した。多くの学生は、雑草取り、地面堀り、植木、絵画などの肉体労働をした経験がなかった。彼らは、新しい技術を学ぶことに大きな興味を感じ、エネルギッシュだった。川沿いに位置するドンビン（Dong　Binh）　村で、9年生がお金を集めて用意した果物の木を植えるために土地をならしていると、ファイサル（Faisal）が「植木はこんなに大変なのに、食品の値段はどうして安いんですか？」と尋ねた。 ISSの学生が過去に訪問した場所を再び訪問するメリットは、2年前に現在の11年生がベトナムに行って植えた木から、果物の実がなったのを見ることができるということだ。この週は、学生がお互いに助け合い、お互いの能力を信じるのに役立つチームワークの課題が多かった。旅行の引率者は、学生たちの肯定的で受容的な態度が印象深かった 。」

「チームで働くのは楽しかったが、皆の意見が一致しなくて大変だった。チームのメンバーとスムーズに活動するためには、お互いへの尊重が必要だと感じた。私たちのチームは、大変なときには少なくともお互いの意見を聞いて問題の解決のために努力した。“

カン・ミン (Gangmin), ISS の学生

「私はこの学校に来て間もないので、学生や学校にまだ慣れていないけれど、この「壁のない週」の旅行のおかげで様々な国の出身の友人の文化について学ぶことができた。この旅行は彼らのおかげで 一人じゃなくて心強かった。」

ソフィー (Sophie), ISS の学生

「ベトナムの文化を体験でき、グループでの交流や危険察知など、IBコースのためのプロフィールスキルを開発することができた。この「壁のない週」の旅行で、自分自身がグループをリードでき、思慮深い考えを持って効率的なコミュニケーションを行うことができるということを悟った。」

ヨー (Yo), ISS の学生

学校の校舎のペイントが完了

伝統楽器の演奏方法を学ぶ学生たち!

植樹中

# セディリ (Sedili, Malaysia)

セディリ(Sedili)で私たち10年生は、忘れられない貴重な経験をした。熱帯雨林を訪れてエキゾチックな動植物を勉強し、有機農場やエビの養殖場に立ち寄って、環境面で持続可能な養殖方法の利点を学んだ。また、ロヒンギャ(Rohingya)難民学校で地域の生徒を教え、ゲームやグループ活動を通じてロヒンギャ(Rohingya)の学生を教えた。学生たちは実習を通して海岸の生態系について学び、ビーチの掃除を通して海洋汚染による被害について学んだ。

「私たちは、大きな期待を持ってロヒンギャ(Rohingya)のタンポイ(Tampoi)学校を訪問した。彼らが私の言葉を理解しコミュニケーションしたがるか心配で、私たちが共有したいことに興味を持ってくれるかも気になった。

でも心配の必要はなかった。この訪問は素晴らしい経験だった。私は14歳から16歳までの学生とチームになって交流し、パックマン(PacMan)紹介ゲーム、サッカーのようなゲームをして楽しい時間を過ごした。彼らにパズルやクイズを利用して地理と数学を教えると、一生懸命学んでくれた。

ロヒンギャ(Rohingya)難民センターでの経験は非常に特別な時間だった。この経験を通して私たちとあまり変わらないことが分かり、一緒にアクティビティや学習活動を楽しんだ。唯一の違いは、私が彼らのように困難な生活をしなくていい運を持って生まれたということだ。この経験を決して忘れないだろう。この旅行は自分の祝福された人生を楽しむことを教えてくれた。」

テギュン (Taegyun), ISS の学生

一般の学校の学生たちと討論およびコミュニケーション

ロヒンヤ(Rohingya)学校の学生たちと交流

# ロンボク (Lombok, Indonesia)

私たち11年生は今年度にインドネシアを訪問し、サメの加工工場と漁師の島(Fisherman Island) を訪問し、バイオロック(Biorock)周辺でシュノーケリングをした。さらに地域の学校コミュニティに貢献して一緒に働くことができた。

「「壁のない週」は本当に充実した経験だった。アクティビティを通して学校の外で時間を過ごし、クラスメートと一緒に仕事をして遊ぶことで友情が深まった。
サメマーケットの訪問は、新しい視点を開いてくれた。サメが捕まるのを見てとても悲しかったけれど、漁師の人たちと話しながら過酷な生活について知ることができた。彼らにとってはこれが家族の唯一の収入で、毎回2週間家を離れて海で過ごして海での危険に耐える。何の成果もなく戻ってくる時も時々あるという。ヒレを手に入れるためにサメを捕ることには賛成しないが、この経験を通じて漁師のつらい生活について学ぶことができた。いつかこの漁師が政府の支援でエコツーリズムガイドになることでサメ漁が中断されたらいいと思う。この経験を通じてシンガポールで経験できる機会が、誰にでも与えられるものではないということを知り、自分に与えられた祝福に気づかされた。

サンゴ礁のためのバイオロックを作る機会があり、プラスチックの使用やゴミの不法投棄のように、私たちが毎日していることが海に与える被害について学んだ。私たちの小さな行動が海を救う大きなきっかけになる 。

ベラ (Vera), ISS の学生

ベラの「壁のない週」での経験は、積極的な姿勢を持ち、世界の問題の原因や結果について良く理解できるようになり、全体の利益のために、どのような道徳的なことを実践するべきかを学べた! 「壁のない週」の旅は、すべての学生の学習活動の開発と人生の経験に有益だ。

チームインドネシア!

一般の学校の学生たちと工芸作業

海辺でキャンプファイヤー

# 小学校スポーツデー

活動的な身体も積極的な精神と同じくらい重要です！毎週小学生は学校の体育の時間に多くの活動を通して体を鍛えています。さらに運動神経、チーム運動の仕方を発展させ、ゲームや競争に勝つために最善を尽くします。

毎年開催される小学校のスポーツデーは体育の時間の努力が最高潮になる日です。運動神経を向上させるだけでなく、組織のイベントに参加して協力することを学びます。

今年のスポーツデーで学生は非常に楽しい時間を過ごし、学生がスポーツ中に見せた姿から、これまでの大変だった時間が報われたと感じられました。皆が頑張りました。リレーに参加した学生たちが見せてくれた団結力ととチームの競争で見えた協力のための努力を通じて、学生が単なる冒険主義者ではなく、偉大なチームの中での連帯意識を持っていることが分かりました。

よーいドン!

槍投げ競技

長〜いジャンプ

# MYP水泳

おめでとう、サマセット(Somerset)!

選手たちはスタート準備中

毎年、ISSは学生のための水泳大会を企画しています。水泳大会は多くの面でISSの学生に非常に有益です。MYP（Middle Years Programme）の学生が一体となってスポーツを促進させ、成功を分かち合うことができるチャンスです。水泳の授業の時間に頑張って練習して長所を引き出す努力をし、障害を克服し、これを突破する冒険家としての自分を見つけることで、肉体的、精神的に成長します！

「教師として、忍耐を通して挑戦していく方法を学んでいる学生たちを見ながら、心が温かくなります。結果に関係なく私心なしに、チームの仲間や友人を励ますのです。これは強くつながったISS共同体の基本的価値観である、思いやりと包容力を育ててくれます。」

ポール・クロジア（Paul Crozier）
運動＆活動司会者、体育教師

笑顔

# ISSの卒業生

卒業生を全世界に輩出しており、ISS国際学校共同体で重要な役割をしています。今後のネットワークイベント、専門家の講演、年次同窓会や対話の場のような校内行事に卒業生を特別に招待する予定です。

トニー・ハーリッヒ (Tony Harlich)

## トニー・ハーリッヒ (Tony Harlich)

私は1986年にISSを卒業しました。 ISSで楽しかった記憶は、水泳、トラッキング、プレストンキャンパスの屋台、キャンパスの売店、そして素晴らしい先生や友人です。全世界の学生と一緒に生活できて良かったし、彼らが教えてくれた多様性に感謝しています。

ISSに滞在中、最も良かったことは、将来の伴侶に出会ったことです。-メアリーハンリ（Mary Hanley）。26歳で幸せな結婚式を挙げましたが、今は26歳の息子と二匹の犬と暮らし、鶏とアヒルも育てています。

現在マイクロソフトで、グループプログラムマネージャーとして働いています。Windows、電話、サーフェス、Xボックス、ゲームと部門内の他の製品のソフトウェアのローカライズプログラムを管理する部署で勤務しています。

ISSでの経験が、マイクロソフトで国際的な役割を果たすのに役立っています。

世界中から来た様々なバックグラウンドのチームのメンバーと一緒に働きながら、ISSでの楽しい記憶を思い出します。

「世界中から来た学生と一緒に生活できて良かったし、彼らが私に教えてくれた多様性に感謝しています。」「ISSでの経験がマイクロソフトで国際的な役割を果たすのに役立っています。」

- トニー・ハーリッヒ (Tony Harlich)

卒業生が生涯学習の旅で何を達成し、ISSでの生活が現在どのような影響を及ぼしているのかを聞きたいと思います。フェイスブックに登録して、卒業生の最新のニュースやイベントをご覧ください。

www.facebook.com/groups/isssgalumni/

# PTA委員会の発表

2017-2018学期の新しい委員会が2017年9月13日に選出され、委員会のメンバーは、様々な国籍とバックグラウンドを持っています。ISSのコミュニティと同様に、PTA委員会も多国籍で構成されています。.

## PTA委員会の新規メンバー

副会長：ポール（Paul）、イギリス
財務担当：クリフ（Cliff）、アメリカ
副財務担当：ニール（Neal）、アメリカ
総務：ヴァネッサ（Vanessa）、シンガポール
一般事務：カルロス（Carlos）、ベネズエラ
コミュニケーション：アツシ（Atsushi）、日本
小学校代表：イクミ（Ikumi）、日本
高校代表：ファリダ（Farida）、バングラデシュ
日本のコミュニティ代表：リナ（Rina）、日本
教師代表：マアエ（Ma Aye）、ミャンマー

PTAの目標は、学生とISSのコミュニティのために学校と協力してサポートする精神を共有することです。学期中にPTAは様々なイベントを企画します。ISS祭り、トリビアナイト（Trivia　Night）、ワイン試飲の夜、保護者旅行やワークショップ、そして著名な専門家の講演などは誰もが楽しみにしています。委員会は、多国籍共同体の多様なニーズに合ったイベントを企画し、強い共同体意識と包容力を培っていくために努力しています。私たちは、ISSがグローバルコミュニティ、中学校の春季発表、小学校と中学校の美術展示会、ドラマイベント、様々な募金活動を行うインターナショナルデーなど、さまざまな学校活動をサポートします。

すべての保護者のPTAへの参加を歓迎します。
詳細は**pta@iss.edu.sg**にＥメールを送るか、フェイスブックの「**ISS International School PTA**」をご覧ください。

PTA 委員会

PTA 親睦の夜

PTA AGM

# ジェフ・キニー、ISS訪問!

著名な文学者であるジェフ・キニー（Jeff Kinney）がISSパターソンキャンパスを訪問し、彼のシリーズ作「ウィムピーキッドの日記（Diary of a Wimpy Kid）」についてのインスピレーションについて語り、本を書くときに何を描いたのか講演しました。著者の指導を直接受けられる機会が与えられました！

本とスケッチについての質問が殺到し、学生の熱意が明らかに見てとれました。著者にサインを貰おうとする長い行列もまた、情熱の証でした。

“私は本を書こうというインスピレーションを受けました。想像力を発揮してキニー（Kinney）のように、日常で起こるすべての事、インスピレーションを取り入れて、人々を幸せにし、笑顔にすることができます。」とISSの学生のミア（Mia）は話しました。

教師が生徒の関心と教育の機会を最大限に引き出すために、創造的なアプローチを採用しているため、ISSの教育環境はダイナミックです。ジェフキニー（Jeff Kinney）と一緒に過ごす時間を通して、スケッチの細かな部分に対する理解、自分に正直なることで得られる利点は、何事においても自信を持つことができます！

ISS パターソンキャンパスで
ジェフ・キニー(Jeff Kinney)

# 2017 インターナショナルデー

参加者たち!

ダンス公演

今年のインターナショナルデーのテーマは、「お互いの違いを認識し、類似点を共有し、グローバルマインドを高めよう」でした。これはインターナショナルデーだけでなく、ISSの教育と学習環境が目指し育成するテーマへの重要なメッセージです。

学生の多様性を尊重し理解する、グローバル市民の育成に専念しています。グローバル精神について教え学ぶことが本校のカリキュラムの不可欠な要素であり、学校の価値と文化システムの基盤です。 35年前に学校が建てられたとき、チャンチーサン(Mr. Chan Chee Seng)は、教育への愛情と国家的な必要性への理解を結びつけ、世界的な視野を持つ包容力のある国際学校を作りました。活動や創造性、誠実な行動を身に着けるためのサービスプラットフォーム、周辺の人やシンガポールの共同体に役に立つプロジェクトなど、多くのボランティアの機会がカリキュラムとして学生に与えられました。学生が教室で学んだ教訓を生かし、多くのグローバルな問題について知ることで、生き生きとした授業を作り、現状を反映して実生活に応用できるようになります。

旗手団

パレード、多文化公演、国別の学生の作品展示、学生主導のワークショップを通じて見られる50以上の国籍を尊重し、ISSのコミュニティの様々な色の伝統衣装を見られたことは素晴らしいことでした。これは地球市民になることが何を意味するのかを学生が徐々に理解していることを示しています。また主催国であるシンガポールへの敬意の表し方が見れたことも素晴らしいことでした。様々なゲームや一般常識クイズを通してシンガポールを記念するのを生徒会が主導しました。 5年生は、シンガポールを尊敬する作品を展示しました。今学期も引き続き、さらに大々的に行っていく予定です。

新しい楽器を習う!

これらのイベントにボランティアとして参加した保護者から、驚くべきお返しがありました。パターソンキャンパスの通路を、数カ国の情報やイメージで華やかに飾り、ビュッフェで様々なおいしい食べ物を用意してくれました。

演奏者に拍手をする

インターナショナルデーは大成功でした。教師たちの苦労と献身、学生のオープンマインド、保護者、ISSのPTA、インターナショナルデー委員会のサポートのおかげで、文化、国際主義を表現するのに成功しました。

学生のジウ(Jeewoo)さんが素敵に要約してくれました。 「インターナショナルデーで、多くの活動や食品を通して他の国の言語や文化について学びます。このイベントは、様々な国の習慣や行動様式について学ぶために非常に有益であると思います。多くの国から来たクラスメートをより深く理解するようになり、時には文化の違いから生じる可能性のある相互間の誤解を防ぐことができます。インターナショナルデーは本当にお勧めです。 “

他の国の料理について学ぶ

リサ・ミッセイン(Lisa Missen)
複合読解司会者、ドラマ教師
インターナショナルデー委員会主任

# 学校の活動
## 9月から11月

### 大学の進学情報の提供 (9月7日)

大学紹介の夜では、11年生および保護者を対象に大学の進学情報を提供しています。

大学紹介のプログラムに参加した父兄と学生

### 父兄会AGM/親睦活動/集まり (9月13日、14日/11月6日)

当校の父兄会は、9月13日に開かれたAGMで2017-2018学年度委員会の委員を新たに選出しました。その翌日の夜、父兄会は盛大な料理とワインを用意して、父兄が互いに知るための親睦のイベントを開きました。11月6日に開かれた父兄会は「Wellness」の情報を共有することが目的でした。委員会のメンバーは、学生の精神的・肉体的健康の重要性に対する父兄の理解の幅が広がるよう、当校の相談担当の先生と看護師と協力する場となりました。

PTA 年次総会

### 小学校の運動会 (9月 22 日)

小学生が運動会を楽しみました。皆それぞれ一生懸命努力した価値があったことを見せてくれました。皆頑張りました！勝利したオーチャード（Orchard）ハウスチーム、おめでとうございます！！

競技スタート!

### 中学校のスピリットウィー(Spirit Week) (9月25日から 29日)

毎年、MYP水泳大会に先立ち、中学校のスポーツ指導員たちが学校の精神を高め、水泳大会への興味を持たせるために、スピリット・ウィーク（Spirit Week）を企画します。今年はドッジボールの試合を開催し、学生たちも楽しんでいました。！

精神週間のドッジボールハウスチャレンジ

### MYP水泳大会 (9月 29日)

MYの学生が水泳大会に備えて厳しい訓練を受け、その成果を見せてくれました！優れたスポーツマンシップとチームワークが発揮され、すべてのレースが素晴らしかったです。お互い励まし合った素敵な一日でした。

水泳の様子

### インターナショナルデー (10月 6日)

お互いの違いを認識し、類似点を共有し、グローバルマインドを育てよう。インターナショナルデーは、ISS国際学校を代表する、文化の多様性を祝う意味のある日です。伝統衣装や固有の色のドレスを着て、エキサイティングな経験をしました。様々な文化について学べる公演とワークショップが盛りだくさんで、全世界の料理も見所でした。

インターナショナルデー!

## 中学校の壁のない週間 (10月 23日から27日)

中学生は毎年、壁のない週間(Week Without Walls(WWW))と呼ばれる学校旅行を通じて、カンボジア、インドネシア、タイ、マレーシア、ベトナムなどの国でボランティアをする機会があります。この旅行を通して文化交流をして理解を深め、有意義、実用的、独創的な経験をすることができます。

壁のない週間で、学校を建ているのを手伝う学生たち

## 小学校の発表会 (10月 27日)

幼稚園の2年生が「どうやって自分を組織化するか」というテーマでダンス公演を行いました。世界中のダンスと歌を網羅して、チームの目標を達成するために協力することを学びました。

幼稚園の2学年のダンスと音楽

## チャリティーマラソン (10月28日)

きれいなトイレが不足している国に募金するために開催されたマラソンイベント(Urgent Run)に参加しました。これらのチャリティーマラソンンの目的は、学生がチャリティー募金を手助けするだけでなく、国際的な衛生問題に関心を持つようにすることです。

チャリティーマラソン

## 小学校の本の博覧会 (11月 1⊠日)

10月にパターソンキャンパスで、小学校の本の博覧会が開催されました。小学生のために毎年開催されるイベントで、読書こそ語彙と知識を増やす良い方法だと考えています。

小学校の本の博覧会

## 中学生主催のコンファランス (11月 1日)

11月1日に中学生が主導するコンファランスは、学生が学校で学んだことを自分たちの視点で眺めたことを、保護者が見ることができる機会です。学生は様々な活動、技術、知識を受けた授業を保護者に見せて、保護者の「旅行ガイド」の役割をします。

学校で学んだことを母親に見せている学生

## 美術展示会 (11月1 5日から 1月 15日)

2017年11月15日から2018年1月15日まで、IN Art Exhibitionで学生の美術作品がシンガポールの他校の生徒の作品と一緒に展示されます。立ち寄って美しい作品を鑑賞することができます!

美術展示会

# 期待の行事
## 11月から12月

### 小学校2年生の発表 （11月24日）

毎年、本校の小学生は舞台の上で公演をする機会があります。この公演は、様々な公演アイデアに基づいた芸術公演です。

IB情報を共有する夕方の集い

### 高校IB 卒業情報の夜及び科目紹介 （11月30日）

IBのカリキュラムと、ISSで学ぶ様々な科目に関する情報を知ることができる場を設けます。高校10年生の卒業情報と科目の紹介に参加して、11年生と12年生の学生が学ぶ内容についてお聞きください。

光公演フェスティバル

### 高校 Festival of Lights公演 （12月12日）

高校で音楽を専攻する学生が、毎年Festival of Lights公演を行います

日本の大学フェア

### 日本の大学フェア （12月10日）

パターソンキャンパスで、日本の大学フェアが開催されます。日本の大学で学ぶコースについての情報を英語で提供しています。多様なコースについて知ることができる機会です。

高校のMYP個人プロジェクト展示

### 個人のプロジェクト展示 （12月12日）

個人のプロジェクト展示会では、学生が個人的に興味を持った作品やキャンペーンを作ります。ミュージックビデオやチャリティーイベントを企画して募金をするWebサイトを作ったりもします。１２月１２日に学生がプレストンキャンパスで個人のプロジェクトを展示します。多くのご参加をお願いします。

自然を利用した作品づくり

### 中学校のアクションデーのボランティア （12月14日）

毎学期の終わりに、中学生はアクションデーのボランティアに参加します。これは環境に良い影響を与え、意味のある学習の機会を提供しようとする目的の一環です。

# 間もなく行われる行事

子どもまたは他のISSの家族同伴が可能なイベントや活動があります！

## Endless Wonder（無限の驚異）

オーチャードロードビジネス協会（Orchard Road Business Association:ORBA）は、オーチャードロードでEndless Wonderのクリスマスパーティに自信を持ってあなたを招待いたします。

ショッピングモールや地下鉄が混じり合うシンガポールのショッピング街をのんびり歩いて、魔法と謎を経験してください。心を魅了する光の世界に入り込んで、Greet Street を歩きながら夢の世界に溺れてください。

ポップアップ（pop-up）のお店や最高の料理、娯楽乗馬と野外公演がマッチしたクリスマスビレッジに立ち寄って、他の経験とは異なるショッピングをご体験ください。

Greet Street へのご訪問を心より歓迎し、ORBAがあなたを変化に富んだクリスマス花火に案内します。

Ngee Ann City Civic Plaza（クリスマスビレッジ）
日曜日-木曜日：am11:00-pm10:00
金曜日-土曜日：am11:00-pm11:00
クリスマス週間：毎日am11:00-pm11:00
www.orchardroad.org/christmas/

## クリスマスワンダーランド

クリスマスワンダーランドは、マリーナ・ベイの美しい庭園で開催される大規模なお祭りで、シンガポールの大型フェスティバルの一つとして知られています。クリスマスワンダーランドは、活気あふれる様々なエンターテイメント、彫刻、アイススケート、試食やクリスマスのお祝いが楽しめる場です。家族と一緒にお祭りのシーズンをお楽しみください。

8 マリナガーデンドライブ 、マリナベイ、シンガポール
2017年12月4日から26日、午後4時から午後11時
http://www.christmaswonderland.sg/index.php